

鸞蘭草

清雅なり、莖も青緑にして賞すべし、赤色二種あり、莖の赤きは花色殊に赤く、英目挾めせきに付て勢ひよく互まる也、莖の黒みて鈍とんるものは英の裏白く數少くして劣れり、  
〔重修本草綱目啓蒙十二〕草 蠶茵草 タ。デ。モ。ド。キ。 ヤ。ナ。ギ。タ。デ。 細葉ノ青 同 名 青 サ。ク。ラ。タ。デ。 ヤ。ウ。キ。ヒ

虎杖

溝瀆水中ニ生ズ、苗ノ形青蓼ノ如ク節赤シ、葉ハ青蓼ヨリ細長ク、味微酸ニシテ辛味ナシ、秋ニ至リ花ヲ開ク、穗ノ長サ三四寸、花大サ三分許、五瓣ニシテ梅花ノ形ニ似タリ、淡紅色愛スベシ又白色ノモノアリ、花小ナリ、共ニ實熟シテ苗枯ル、根ハ枯レズ、  
〔新撰字鏡草〕虎杖根 伊。太。登。利。  
〔本草和名十一〕虎杖根 一名蔭出、爾 一名武杖諺、虎 一名酢菜大、唐俗語也、已 一名苦杖出、拾 和名以多止利、

〔倭名類聚抄二十〕虎杖 本草疏云、虎杖一名武杖和名伊  
〔宜禁本草藥中〕虎杖根 微温、通月水、破留血、癥結、煮汁作酒、主瘡癩、破月閉、搗酒浸常服、孕人忌之、  
治淋下、產後惡血、

〔和漢三才圖會九十四末〕虎杖 苦杖 大蟲杖 斑杖 酸杖 和名伊太止里

按虎杖根出於金剛山者良、小兒折其莖、剝去皮、噉之、味酸、故名酸杖、大抵高者不過三四尺、然松前之虎杖高丈餘、而如木甚、大者亦有、蜀本草言、木高丈餘、而宗奭疑以為非、蓋隨土產有、不同、豈惟虎杖耶、

〔重修本草綱目啓蒙十二〕草 虎杖 伊。タ。ド。リ。 タ。チ。ビ。古。名 サ。ヒ。タ。ヅ。マ。古。歌 フ。タ。バ。ノ。モ。ミ。ヂ。上

サ。ジ。ナ。備。後 エ。ツ。タ。ス。イ。江。州 サ。ド。豐。後 ダ。ン。ジ。播。州 ス。カ。ン。ボ。ウ。同 上

同。上 サ。ジ。ツ。ポ。勢。州 カ。ハ。タ。ケ。肥。前 ヤ。マ。タ。ケ。筑。前 サ。ス。ド。リ。南。部 一。名。主。丹。鉛。酸。桶

筭。救。急 紺。著。朝。鮮。本。草、 枯。杖。通。志 醋。筒。草。條。救。荒。野。譜、 甘。除。根。村。家